

2-③ 私のほめ方・しかり方

■対象：乳児～小学校低学年の親

■時間：60分程度

■手法：ロールプレイ

学習のねらい 子どもに対するほめ方・しかり方について役割演技をしたり、話し合ったりすることを通して、場や状況に適したよりよい伝え方について考える。

準備するもの 筆記用具 ワークシート【P.71】 アドバースタイム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもをほめる時やしかりる時に、どんなことに気をつければよいか、みなさんと考えてみたいと思います。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①たましいの握手〈P.97〉 ②自己紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組ができた後、互いに自己紹介をする。 	
40分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>①ワーク1を記入する</p> <p>②ペアになり、お互いに言ってみる</p> <p>③感想を話し合う</p> <p>④グループで話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での紹介 ・より効果的な伝え方 <p>⑤グループごとに発表する</p> <p>⑥まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①は自分の考えを自由に表現するように伝える。 ・②は子ども役と親役になりきってできるように、楽しい雰囲気づくりを心がける。 ・④はグループで、より良いほめ方・しかり方について考えるよう伝える。 ・⑤は話し合いのポイントも含めて発表するよう伝える。 ・一言で簡単にコメントする。 	<p>筆記用具 ワークシート (P.71)</p>
7分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①感想をワーク2に記入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己をふり返り、今後について考える時間をとる。 	
3分	<p>【アドバースタイム】</p> <p>いかがでしたか？ よいことをした時はしっかりほめ、しかりる時には感情にまかせず、受け止める子どもの立場や思いを理解することが大切です。</p> <p>文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。</p> <p>※資料 P.112「良いことをしたときはしっかりほめてあげる」「感情にまかせて叱ることとしつけとは違う」から状況に応じて選んで読む。</p> <p>《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》</p>		<p>配付資料</p>

2-③ 私のほめ方・しかり方

①ワーク1を記入する（10分）



ワークシートを配ります。その中に、例として4つの場面を取り上げています。
あなたなら、①～④のそれぞれの場面においてお子さんに対して、どう言いますか？ 自分の考えを自由に記入しましょう。時間は8分です。

②ペアになり、お互いに言ってみる（5分）

今書いた台詞^{せりふ}をもとに、子ども役と親役の役割分担をして、相手に言ってみましょう。2人で場面を想定し、できるだけ雰囲気を出してなりきって言ってください。



③感想を話し合う（3分）



どうでしたか？
今の台詞^{せりふ}を言われてどう思ったか、お互いにそれぞれの感想を伝え合いましょう。

④グループで話し合う（13分）

近くの2つのペアで4人グループをつくりましょう。
他の方はどんな言い方を考えたか、グループのメンバーで台詞^{せりふ}を紹介し合ってください。そして、子どもをほめる時やしかる時により効果的な伝え方について話し合ってください。後で、グループの代表の方に発表してもらいますので、グループ全員で台詞^{せりふ}を作ってみましょう。



⑤グループごとに発表する（8分）



グループで作った台詞^{せりふ}を、代表の方に紹介してもらいます。できれば、どういう考えでその台詞^{せりふ}になったか簡単に説明してください。

⑥まとめ（1分）

みなさん、お子さんのことをしっかり考えて、言い方を工夫しておられることがよく分かりました。
それでは、今日の学習をワーク2でふり返ってみましょう。



【活用のポイント】

このプログラムは、対象となる親（保護者）の子どもの年齢に応じて、ワーク1の①～④の場面設定を変更するとよいでしょう。

ワーク1 こんな時、あなたならどう言いますか。

①近所の人に、「こんにちは」や「ありがとう」がはっきりと言えたとき

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・〇〇さん、「こんにちは！」
・〇〇さん、「ありがとうございます」



【親役】

②自分からすすんで、きちんとおもちゃの片づけができたとき

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・「よしよっと、やった～！
これできれいに片付いた～」



【親役】

③いっしょにあそんでいる友だちをたたいたとき

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・「僕（私）が先に使ってたのに。
もう～っ、（パチン!）」



【親役】

④安全確認をしないで、道路に飛び出したとき

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・「あっボールが、待って～」
・「お～い、〇〇ちゃん、今行くよ」



【親役】

ワーク2 今日の学習で感じたこと、気づいたことを書きましょう。

